

# 事業報告

## 令和7年度 第2回 大分県公立図書館等職員研修会

日 時 令和7年7月7日（月）9：50～16：00

会 場 大分県立図書館 1階 第2・3研修室

参加形態 ①集合型 ②オンデマンド参加（後日動画限定配信）

参 加 者 公立図書館等職員 106名（①28名 ②78名）

### ＜研修趣旨＞

公立図書館の職員に対し、日常業務に伴って生じる課題を解決できるよう、知識やスキルを学ぶことにより、県内全体での司書のスキルアップを図る。

### ＜研修内容＞

【講義】 講義 「知的・発達障害のある利用者を図書館へ迎えるためのヒント」

講師 東京家政大学 講師 東恩納 拓也 氏

#### 講義内容

神経発達症がある方の図書館利用に関する実態

神経発達症の特性

図書館で神経発達症がある方へ対応するときのポイント

具体的な事例と対応例

### 【参加型交流会（ワールドカフェ）】

テーマ 「図書館の利用者に関して困ったこと」

ファシリテーター 大分県立図書館 社会教育主事等

### 【講義】（Zoomでのオンライン講義）

講義 「図書館での危機管理について」

講師 関東学院大学 教授 千錫烈 氏

#### 講義内容

公共図書館の利用の自由

問題行動の実態

リスクマネジメント

ホスピタリティ

怒った利用者への対処法（危機管理）

### ＜当日の様子（写真）＞



### ＜参加者感想＞

- ◇日常の業務に関わる内容でとても勉強になった。
- ◇今回の研修はより具体的でわかりやすく、実践できる内容のものばかりだった。
- ◇人対人なのでなかなか簡単なことではないができることから取り組んでいきたい。
- ◇思いあたる利用者さんもいるため今後の対応について考えるきっかけになった。
- ◇自館での困りごとを他館と交流しながら共通でき、とてもためになった。
- ◇グループワークで他館の現状や取りくみなどを知ることができて大変勉強になった。
- ◇人的環境と物的環境を整えていきたい。どんな方でも過ごしやすい配慮をしたいと感じた。
- ◇海外や他の図書館の事例も多く紹介され、今後の図書館運営の参考になった。